

人間総合科学研究科 生涯発達科学専攻（博士後期課程）

平成24年度以降入学者

必修科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02JJ001	生涯発達科学基礎論	2	1.0	1・2	通年	随時		安藤 智子, 大川 一郎, 岡田 昌毅, 小澤 温, 川間 健之介, 高橋 正雄, 藤生 英行, 吉野 真理子, 飯田 順子, 佐島 毅, 八重田 淳, 山田 実, 熊谷 恵子, 松井 豊, 大塚 泰正, 藤 桂, 原田 隆之	生涯発達科学に関する基礎を学ぶ。	主専攻必修科目。
02JJ011	生涯発達科学演習I	2	1.0	1・2	通年	随時		安藤 智子, 大川 一郎, 岡田 昌毅, 小澤 温, 川間 健之介, 高橋 正雄, 藤生 英行, 吉野 真理子, 飯田 順子, 佐島 毅, 八重田 淳, 山田 実, 熊谷 恵子, 松井 豊, 大塚 泰正, 藤 桂, 原田 隆之	生涯発達科学に関するアプローチの方法を習得する。	主専攻必修科目。
02JJ012	生涯発達科学演習II	2	1.0	1・2	通年	随時		安藤 智子, 大川 一郎, 岡田 昌毅, 小澤 温, 川間 健之介, 高橋 正雄, 藤生 英行, 吉野 真理子, 飯田 順子, 佐島 毅, 八重田 淳, 山田 実, 熊谷 恵子, 松井 豊, 大塚 泰正, 藤 桂, 原田 隆之	生涯発達科学に関するアプローチの方法を習得する。	主専攻必修科目。
02JJ021	生涯発達科学特論I	2	1.0	2・3	通年	随時		安藤 智子, 大川 一郎, 岡田 昌毅, 小澤 温, 川間 健之介, 高橋 正雄, 藤生 英行, 吉野 真理子, 飯田 順子, 佐島 毅, 八重田 淳, 山田 実, 熊谷 恵子, 松井 豊, 大塚 泰正, 藤 桂, 原田 隆之	生涯発達に関する諸問題について検討する。	主専攻必修科目。
02JJ022	生涯発達科学特論II	2	1.0	2・3	通年	随時		安藤 智子, 大川 一郎, 岡田 昌毅, 小澤 温, 川間 健之介, 高橋 正雄, 藤生 英行, 吉野 真理子, 飯田 順子, 佐島 毅, 八重田 淳, 山田 実, 熊谷 恵子, 松井 豊, 大塚 泰正, 藤 桂, 原田 隆之	生涯発達に関する諸問題について検討する。	主専攻必修科目。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02JJ023	生涯発達科学特論III	2	1.0	2・3	通年	随時		安藤 智子, 大川 一郎, 岡田 昌毅, 小澤 温, 川間 健之介, 高橋 正雄, 藤生 英行, 吉野 真理子, 飯田 順子, 佐島 毅, 八重田 淳, 山田 実, 熊谷 恵子, 松井 豊, 大塚 泰正, 藤 桂, 原田 隆之	生涯発達に関する諸問題について検討する。	主専攻必修科目。

専門科目(キャリア形成関連科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02JJ401	生涯発達科学特別演習I	4	1.0	1・2	通年	応談		安藤 智子, 大川 一郎, 岡田 昌毅, 小澤 温, 川間 健之介, 高橋 正雄, 藤生 英行, 吉野 真理子, 飯田 順子, 佐島 毅, 八重田 淳, 山田 実, 熊谷 恵子, 松井 豊, 大塚 泰正, 藤 桂, 原田 隆之	学生のテーマと関連づけながら, 生涯発達科学に関連する諸理論・アプローチの基礎を学ぶとともに, 事例研究等を通じ理解を深める。	担当教員の内、いずれか一人かグループで担当する
02JJ402	生涯発達科学特別演習II	4	1.0	1・2	通年	応談		安藤 智子, 大川 一郎, 岡田 昌毅, 小澤 温, 川間 健之介, 高橋 正雄, 藤生 英行, 吉野 真理子, 飯田 順子, 佐島 毅, 八重田 淳, 山田 実, 熊谷 恵子, 松井 豊, 大塚 泰正, 藤 桂, 原田 隆之	学生のテーマと関連づけながら, 生涯発達科学に関連する諸理論・アプローチの実社会への応用事例について検討し, その実態と課題について考察する。	担当教員の内、いずれか一人かグループで担当する
02JJ403	生涯発達科学特別演習III	4	1.0	2・3	通年	応談		安藤 智子, 大川 一郎, 岡田 昌毅, 小澤 温, 川間 健之介, 高橋 正雄, 藤生 英行, 吉野 真理子, 飯田 順子, 佐島 毅, 八重田 淳, 山田 実, 熊谷 恵子, 松井 豊, 大塚 泰正, 藤 桂, 原田 隆之	学生のテーマと関連づけながら, 生涯発達科学に関連する諸理論・アプローチに関する最新の研究について検討し, 実社会への応用の可能性について考察する。	担当教員の内、いずれか一人かグループで担当する
02JJ411	産業社会心理学特論	4	1.0	1 - 3	通年	応談		岡田 昌毅	産業組織を有機的・効果的に機能ならしめている理論的背景と実際を理解するとともに, 組織で働く人を多様な視点から考察する。	講義は日本語で行う。
02JJ412	組織メンタルヘルス特論	4	1.0	1 - 3	通年	応談		大塚 泰正	組織とメンタルヘルスに関わる理論的背景と実際を理解するとともに, 組織メンタルヘルスを多様な視点から考察する。	講義は日本語で行う。
02JJ413	臨床社会心理学特論	4	1.0	1 - 3	通年	応談		松井 豊	災害救援者の惨事ストレスや悲嘆など, 臨床心理学と社会心理学の境界領域にあるトピックスをとりあげ理論背景と実際を理解するとともに, 多様な視点から考察する。	講義は日本語で行う。
02JJ414	職業リハビリテーション特論	4	1.0	1 - 3	通年	応談		八重田 淳	生涯発達におけるキャリア形成の方法論としての職業リハビリテーションプロセスについて学ぶ。	講義は日本語で行う。 02JJ151と同一。
02JJ416	キャリア形成特論I	4	1.0	1 - 3	夏季休業中	集中		荘島 宏二郎	生涯発達におけるキャリア形成について, 理論背景と実際を理解するとともに, 多様な視点から考察する。	
02JJ417	キャリア形成特論II	4	1.0	1 - 3	秋B	集中		荘島 宏二郎	キャリア形成領域における, 高度な研究方法論を理解するとともに, 実践的応用力を習得する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02JJ418	対人社会心理学特論	4	1.0	1-3	通年	応談		藤 桂	各自の研究テーマと関連づけながら、対人社会心理学に係わる諸研究について先行研究の概観を行い、研究間の相互関連性や相違点を明確化する。またそれを通して、独自の視点から研究計画の策定に活用していく。これらを経て、研究成果の論文文化へと結びつけていく。	

専門科目(生涯発達支援関連科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02JJ501	カウンセリング科学特別演習I	4	1.0	1-2	通年	応談		安藤 智子, 大川 一郎, 岡田 昌毅, 藤生 英行, 飯田 順子, 松井 豊, 大塚 泰正, 藤 桂, 原田 隆之	学生のテーマと関連づけながら、カウンセリングのプロセスおよび効果について、科学的に理解する方法を学ぶとともに、多様な視点から考察する。	担当教員の内、いずれか一人かグループで担当する
02JJ502	カウンセリング科学特別演習II	4	1.0	1-2	通年	応談		安藤 智子, 大川 一郎, 岡田 昌毅, 藤生 英行, 飯田 順子, 松井 豊, 大塚 泰正, 藤 桂, 原田 隆之	学生のテーマと関連づけながら、実践に基づき、カウンセリングのプロセスおよび効果について、科学的に理解の方法を学ぶとともに、多様な視点から考察する。	担当教員の内、いずれか一人かグループで担当する
02JJ503	カウンセリング科学特別演習III	4	1.0	2-3	通年	応談		安藤 智子, 大川 一郎, 岡田 昌毅, 藤生 英行, 飯田 順子, 松井 豊, 大塚 泰正, 藤 桂, 原田 隆之	学生のテーマと関連づけながら、カウンセリングのプロセスおよび効果について、科学的に研究する力を育成するとともに、多様な視点から考察する。	担当教員の内、いずれか一人かグループで担当する
02JJ511	カウンセリング科学特論	4	1.0	1-3	通年	応談		藤生 英行	実践と研究成果の相互を鑑みながら、カウンセリングのプロセスおよび効果について理論背景と実際を理解するとともに、多様な視点から考察する。	講義は日本語で行う。
02JJ512	学校生活支援カウンセリング特論	4	1.0	1-3	通年	応談		飯田 順子	学齢期の子ども達を支援するカウンセリングについて、心身や対人関係面での発達の著しい時期という特異性をふまえて考察する。	講義は日本語で行う。
02JJ521	生涯発達心理学特論	4	1.0	1-3	通年	応談		大川 一郎	人の生涯の発達について心理学的観点から学ぶとともに、多様な視点から考察する。	講義は日本語で行う。
02JJ522	障害科学特論	4	1.0	1-3	通年	応談			聴覚障害・言語障害と機序およびその支援の理論背景と実際について理解すると共に、教育・リハビリテーション関連諸科学の観点から考察する。	講義は日本語で行う。
02JJ523	発達支援科学特論	4	1.0	1-3	通年	応談		熊谷 恵子	発達障害児者の生涯発達に係わる諸課題を教育・リハビリテーション関連諸科学の観点から分析し、理解を深める。	講義は日本語で行う。
02JJ524	発達支援評価特論	4	1.0	1-3	通年	応談		佐島 毅	障害のある子どもの発達評価と家族を含めた支援について講義する。	講義は日本語で行う。 02JJ241と同一。
02JJ525	コミュニケーション発達支援特論	4	1.0	1-3	通年	応談		吉野 真理子	コミュニケーション障害のある人々の生涯発達を支援するアプローチについて概説する。	講義は日本語で行う。 02JJ251と同一。
02JJ527	生涯発達支援特論I	4	1.0	1-3	春季休業中	集中		山崎 浩司	生涯発達を支援する理論背景、実際を理解するとともに、様々な視点から考察する。	
02JJ528	生涯発達支援特論II	4	1.0	1-3	秋・春季休業中	集中		中谷 安男	生涯発達支援領域における、高度な研究方法論を理解するとともに、実践的応用力を習得する。	Lectures are conducted in Japanese.

専門科目(生涯発達システム関連科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02JJ601	リハビリテーション科学特別演習I	4	1.0	1-2	通年	応談		小澤 温, 川間 健之介, 高橋 正雄, 吉野 真理子, 佐島 毅, 八重田 淳, 山田 実, 熊谷 恵子	小児期から高齢期にいたる障害や疾患についての理解を深めるとともに、科学的な根拠に基づく包括的なリハビリテーションのあり方を考察する。	担当教員の内、いずれか一人かグループで担当する

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02JJ602	リハビリテーション科学特別演習II	4	1.0	1-2	通年	応談		小澤 温, 川間 健之介, 高橋 正雄, 吉野 真理子, 佐島 毅, 八重田 淳, 山田 実, 熊谷 恵子	小児期から高齢期にいたる障害や疾患についての理解を深めるとともに, 科学的な根拠に基づく包括的なリハビリテーションのあり方を考察する。	担当教員の内、いずれか一人かグループで担当する
02JJ603	リハビリテーション科学特別演習III	4	1.0	2-3	通年	応談		小澤 温, 川間 健之介, 高橋 正雄, 吉野 真理子, 佐島 毅, 八重田 淳, 山田 実, 熊谷 恵子	小児期から高齢期にいたる障害や疾患についての理解を深めるとともに, 科学的な根拠に基づく包括的なリハビリテーションのあり方を考察する。	担当教員の内、いずれか一人かグループで担当する
02JJ611	リハビリテーション科学特論	4	1.0	1-3	通年	応談		山田 実	小児期から高齢期にいたる障害や疾患についての理解を深めるとともに, 多様な視点から考察する。	講義は日本語で行う。
02JJ612	コミュニティ発達援助特論	4	1.0	1-3	通年	応談			多様な考え方や立場をもつ者が共生するコミュニティにおいて, 互いに援助し合う方法やシステムについて考察する。	
02JJ613	中高年・障害者発達支援特論	4	1.0	1-3	通年	応談		高橋 正雄	中高年期, 障がいのある人々, 病みながら生きる人々の生涯発達について精神医学・リハビリテーション的な観点から検討する。	講義は日本語で行う。
02JJ614	教育支援システム特論	4	1.0	1-3	通年	応談		川間 健之介	カリキュラム, 地域連携, 関連諸機関の連携等を中心に教育支援システムについて論じる。	講義は日本語で行う。
02JJ615	家族発達援助特論	4	1.0	1-3	通年	応談		安藤 智子	親子関係と子どもの発達・精神病理との関連を踏まえ, 親の育児不安・ストレスの軽減と養育行動への心理臨床的介入について論じる。	講義は日本語で行う。 02JJ351と同一。
02JJ616	ケアマネジメント特論	4	1.0	1-3	通年	応談		小澤 温	保健, 医療, 福祉, リハビリテーション, 教育, 就労などの多様なニーズのある市民の, 地域社会の中で充実した生活を支える支援方法であるケアマネジメントの理論と方法を学ぶ。	講義は日本語で行う。 02JJ361と同一。
02JJ618	生涯発達システム特論I	4	1.0	1-3		集中		小玉 正博, 土井 剛彦	生涯発達システムに関する理論背景と実際を理解するとともに, 多様な視点から考察する。	
02JJ619	生涯発達システム特論II	4	1.0	1-3	通年	集中			生涯発達システム領域における, 高度な研究方法論を理解するとともに, 実践的応用力を習得する。	Lectures are conducted in Japanese.
02JJ620	精神健康科学特論	4	1.0	1-3	通年	応談		原田 隆之	各自のテーマと関連づけながら, ささまざまな心理・精神的健康上の問題について, その解決手法の学習を通して研究計画の策定を行う。具体的には, 研究計画を設定・実施し, その結果分析と研究課題に関連する文献の批評を通して, ドラフト論文を作成する。	